

経済協力開発機構鉄鋼委員会分担金

平成30年度予算額 **0.12億円（0.12億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 本予算は、OECD鉄鋼委員会の分担金を負担するものです。鉄鋼委員会には、OECD加盟国及び中国・ロシア・ブラジルといった重要鉄鋼産業国の鉄鋼産業政策担当官が出席し、世界的鉄鋼過剰供給能力問題といった鉄鋼産業に関わる諸課題について議論しています。
- また、各国の鉄鋼関連政策の実施状況について情報交換や各国鉄鋼市場・供給能力、貿易問題についての統計の整備等も行っています。
- 上記、鉄鋼産業政策担当官による活発な議論・情報交換により、国際横断的な諸問題の解決に向けた相場観を形成し、我が国鉄鋼業の発展に向けた政策検討に寄与しています。

成果目標

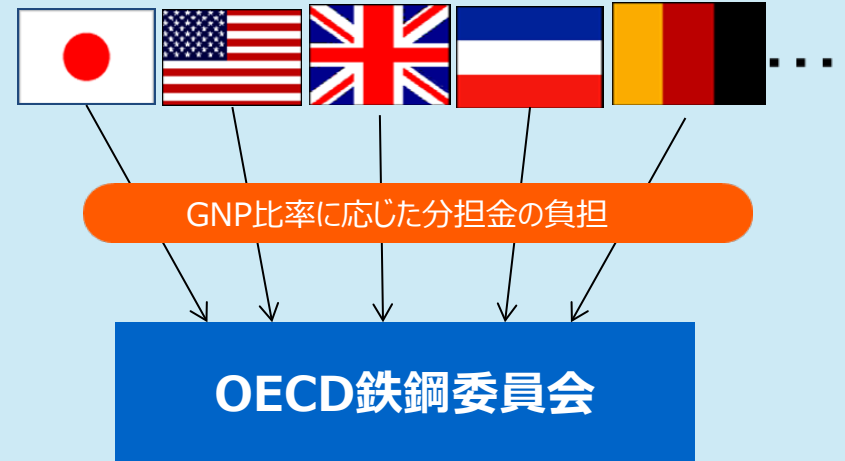
- 平成10年からの事業であり、過剰供給能力問題や通商問題等の国際的な問題について、本委員会での活動により世界的な共通認識を形成し、我が国鉄鋼業の安定成長実現を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

25ヶ国



- 主な目的
 - ①健全な鉄鋼貿易の確保
 - ②貿易障壁の軽減
 - ③問題回避に向けた多国間協調の促進
 - ④構造調整の促進を通じた鉄鋼企業の競争力強化
 - ⑤世界的過剰供給能力問題への取組
- 本会合を年2回（春・秋）に開催します。

議長：米国

副議長：日本・ベルギー